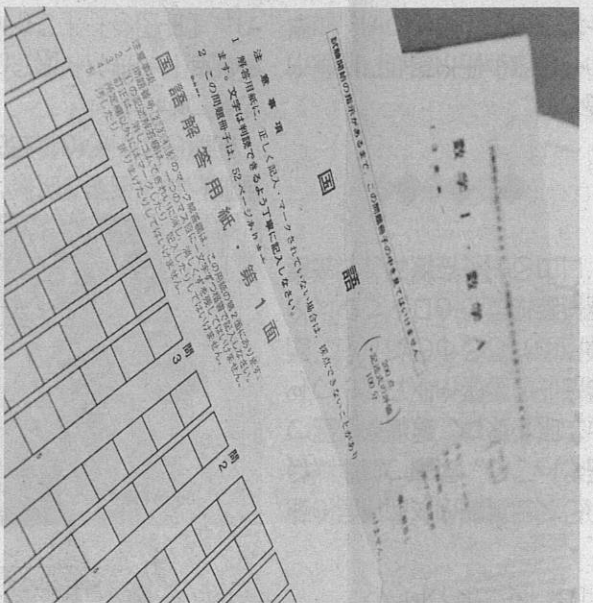


3年後本番 大学入試新テスト試行

大学入試センター試験を衣替えする新たな「共通テスト」の試行調査の問題が四日公表された。目玉の記述式だけでなく、マークシート式も出題形式が変貌。学校現場に思考力重視の授業へとかじを切るよう迫る意図が見えだが、調査に臨んだ高校生からは変化に戸惑う声も漏れる。本番まであと三年余り。授業改革と同時に、出題する側も問題の分量や難易度の調整を、ぎりぎりまで続けることになりそうだ。

――▶面参照

出題形式がら戸惑う高校生



記述式問題の解作用紙と国語と数字I・Aの問題冊子

◆脱・暗記科目

「時間配分が難しくかつ、試行調査の国語に挑んだ」。東京都立校修館中等教育学校の男子生徒（仮の感想だ。国語では八十一百二十字の長文と五十字、二十五字の短文を書かせる記述式計画が出た。試験時間はセクスタ試験より二十分長い。センター試験より十分長い。百分だが、この生徒は記述式を解くのに三分程度かかったといひ、余裕はなかったようだ。

従来のマーク式問題でも新機軸が打ち出された。

◆負担増？

「歴史は暗記した知識を問うのが中心だったのに、今めば、さまざま。都内進学校は、問題自体はそれわったが、問題自体は学校の国語教諭は「形式は変えたが大丈夫と自信を見せる。採求型の問題を意識し、大手予備校の担当者は「歴史は暗記した知識を問う」と説明する。

「共通テストへの衣替えは、学校の授業を知識偏重から思考力、判断力、表現力重視へと転換させたい。一方「どの科目もかなりの生徒が増えるのでは」と

◆時間限られ

今回の調査では国語、数学などがセンター試験と比して問題冊子が分厚くなった。生徒が読み込む問題文や資料は、その分増えた。石原部長は「本番もこの量や難易度のままで、国立難関大を目指す生徒に受験自体を諦めたい」と欠かせない」と話した。

身体拘束の厚労省方針 介護協

厚生労働省は四日まで、特別養護老人ホームに、介護施設（特養）など介護施設の職員が、高齢者の身体を拘束する際の要件を厳格化する方針を示した。来年四月から運営基準に盛り込む。介護施設内で、高齢者の虐待件数が増加しているため、不要な拘束に歯止めをかける。厚労省は介護保険サービス

「残業規制 運転手も」181万人署名

トラックの運転手をつくる労働組合の全国組織「運輸労連」（難波淳介中央執行委員長）は四日、東京都内で記者会見し、政府が検討する残業時間の罰則付き上限規制を運輸業界に適用するよう求める署名が百八十一万人分集まったと発表した。各政党の賛同を得て、衆参両院議長宛ての請願として来年の通常国会へ提出を目指す。

政府が来年の通常国会に提出予定の「働き方改革」関連法案は、残業時間を年七百二十時間以内、繁忙期でも一六カ月平均で八時間以内、単月で百時間未満に規制する。一方、運輸業と建設業は環境整備に一定の時間を要するとして適五年後の猶予期間終了後

運輸労連 請願を来年国会に提出

「働き方改革」で○臓死刻不...を始める万の...的お住